

授業科目名： 球技演習	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 高木由起子 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 (1)球技種目の教材作成の技術を習得する。 (2)「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた球技種目の指導法を修得する。 (3)教材作成や指導法の振り返りを通じて、球技の楽しさを伝える力を養う。			
授業の概要 中学校および高等学校の体育における球技は「ゴール型」「ネット型」「ベースボール型」に分類され、競い合いを通じて、身体や道具を適切に操作する力や、ゲームの攻防を合理的に展開する力を養うことを目的とする。また、フェアプレイの精神やルール・戦術の理解、安全管理の判断力を養いつけることも重要である。本授業では、ゴール型(バスケットボール)、ネット型(バドミントン)、ベースボール型(ソフトボール)を題材に、指導法や教材作成を学ぶ。単なる技術修得にとどまらず、「主体的・対話的で深い学び」を取り入れ、生涯にわたるスポーツライフの基盤を養うことを目指す。			
授業計画 第1回 オリエンテーション 第2回 球技の技能と戦術の探究 第3回 ルール・ゲーム構造の探究 第4回 チームワークとコミュニケーション 第5回 フェアプレイとスポーツマンシップ 第6回 教材・用具の工夫とルール設計 第7回 指導技術の探究 第8回 グループワーク(指導方法の創造と発表) 第9回 指導案作成(1)構成と計画 第10回 指導案作成(2)内容の具体化 第11回 模擬授業準備と指導案の調整 第12回 模擬授業(1)実践 第13回 模擬授業(2)振り返りと改善点の検討 第14回 指導案の最終調整と発表 第15回 まとめ 科目修得試験			
スクーリングでの学修 スクーリングでは、作成した指導案をもとに教材開発や模擬授業、指導法の検討を行う。			
テキスト			
参考書・参考資料等 『中学校学習指導要領(平成29年)解説 保健体育編』東山書房 https://www.mext.go.jp/content/20250213-mxt_kyoiku01-100002608_2.pdf 『高等学校学習指導要領(平成30年)解説 保健体育編 体育編』東山書房 https://www.mext.go.jp/content/20250213-mxt_kyoiku01-100002620_2.pdf			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			